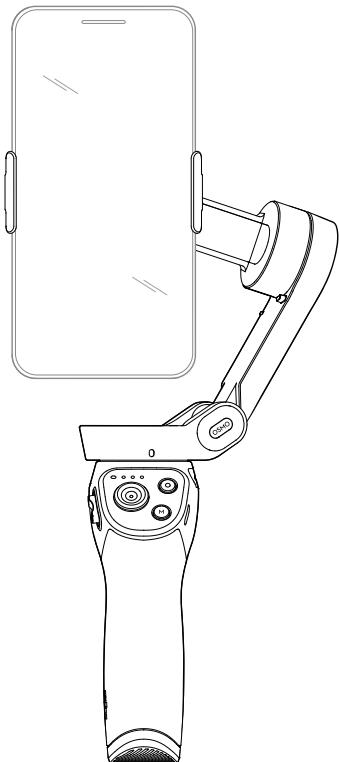


dji OM 4 SE

ユーザーマニュアル

v1.0 2021.08



Q キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードを検索して、トピックを見つけています。Adobe Acrobat Reader で本書を閲覧している場合は、Windows では Ctrl+F、Mac では Command+F を押すことで検索を開始できます。

👉 トピックに移動

目次のトピック一覧をご覧ください。トピックをクリックすると、そのセクションに移動できます。

🖨️ 本書の印刷

本書は高解像度での印刷に対応しています。

本マニュアルの使用方法

凡例

⚠️ 重要

💡 ヒントとコツ

ご使用前に

DJI OM 4 SE を使用する前に、以下のドキュメントをお読みください。

1. 安全に関するガイドライン
2. クイックスタートガイド
3. ユーザーマニュアル

DJI 公式サイト (www.dji.com/om-4-se/video) または DJI Mimo アプリですべてのチュートリアルビデオを視聴することをお勧めします。初めて使用する前には、安全に関するガイドライン、およびクイックスタートガイドをお読みください。詳細は、このユーザーマニュアルを参照してください。

DJI Mimo アプリのダウンロード

右側の QR コードをスキャンして、最新版をダウンロードしてください。



⚠️ iOS 版の DJI Mimo アプリは、iOS v12.0 以降で動作します。Android 版の DJI Mimo アプリは、Android v8.0 以降で動作します。

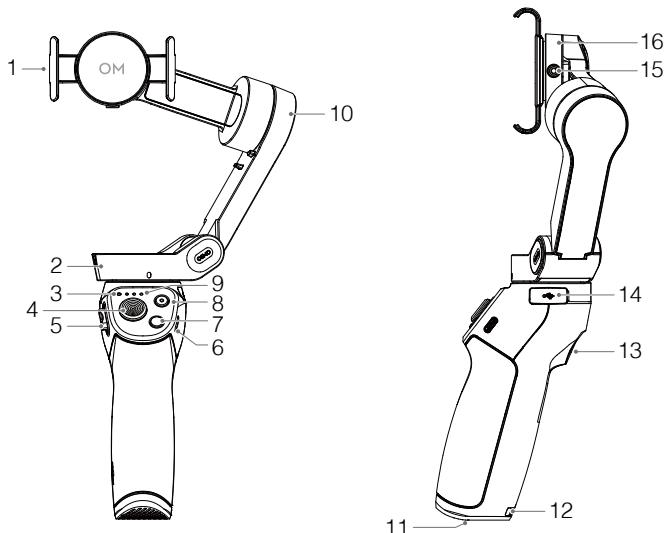
目次

本マニュアルの使用方法	2
凡例	2
ご使用前に	2
DJI Mimo アプリのダウンロード	2
はじめに	4
概要	4
準備	5
充電	5
スマートフォンの取り付け	5
DJI OM 4 SE の使用	7
ボタンとポートの機能	7
操作モード	9
DJI Mimo アプリ	10
DJI Mimo アプリへの接続	10
カメラビュー	11
ファームウェア更新	15
更新方法	15
ストレージ	15
仕様	16

はじめに

3軸スタビライザーを搭載したDJI OM 4 SEを使用することにより、お使いのスマートフォンが手ぶれ補正を搭載したカメラのようになり、極めて滑らかな映像を撮影できます。折りたたみ式デザインにより、DJI OM 4 SEは持ち運びや保管に便利で、またスマートフォン用に新しく採用されたマグネット着脱式デザインで、さらに使いやすくなっています。軽量で人間工学に基づいたDJI OM 4 SEは、指先でシームレスにスムーズな動画作成を実現します。DJI Mimoで使用可能なActiveTrack™ 3.0、ハイパーラプス、タイムラプス、DynamicZoom、パノラマ、ストーリーモードなどの機能で創造性を発揮できます。

概要



1. 磁気スマートフォンクランプ
2. パン軸モーター
3. システムステータス インジケーター
4. ジョイスティック
5. ズームスライダー
6. 充電ポート (USB-C)
7. 電源／M ボタン
8. シャッター／録画ボタン
9. バッテリー残量インジケーター
10. チルト軸モーター
11. 1/4"-20 UNC ポート
12. ストラップ取付口
13. トリガーボタン
14. USB-A ポート
15. M3×0.5 ねじ穴
16. ロール軸モーター

準備

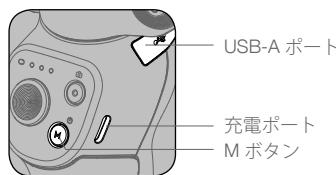
充電

DJI OM 4 SE を充電するには、電源ケーブル（同梱）を使用して、USB アダプター（非同梱）と充電ポートを接続してください。バッテリーが完全に充電されると、バッテリー残量インジケーターは消灯します。

充電時間：2.5 時間（10 W 充電器を使用し、環境温度 25°C でテストを実施）

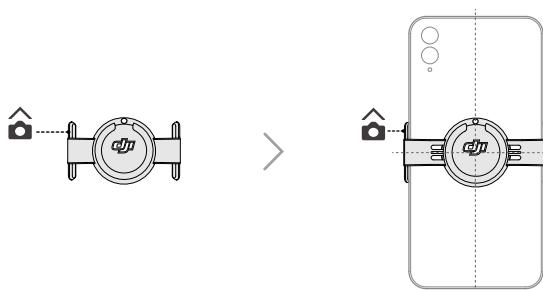
最大稼働時間：15 時間（ジンバルのバランスが取れており、安定した状態でテストした値で、参考値です）

DJI OM 4 SE はパワーバンクとしても使用できます。スマートフォンを USB-A ポートに接続してください。DJI OM 4 SE の電源がオンになっている場合は、スマートフォンの充電が開始します。DJI OM 4 SE の電源がオフになっている場合は、M ボタンを 1 回押すと充電を開始します。



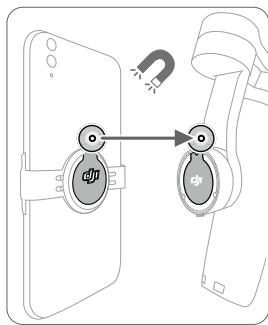
スマートフォンの取り付け

1. 磁気スマートフォンクランプの使用：スマートフォンの中央に磁気スマートフォンクランプを取り付けます。

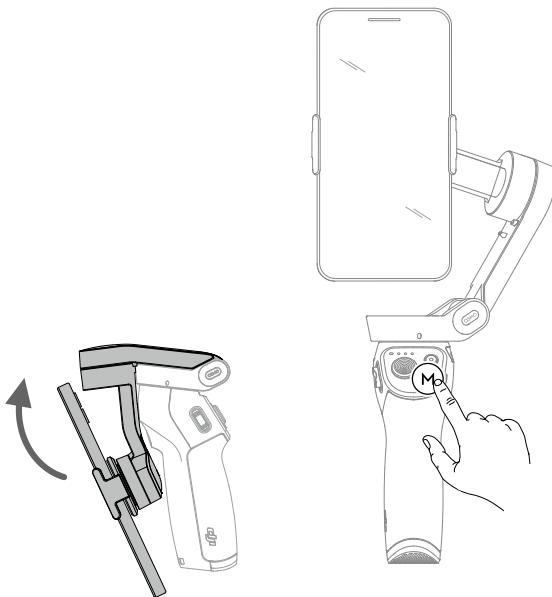


- ⚠ •図のように、磁気スマートフォンクランプの向きを確認し、スマートフォンの中央に配置してください。そうしない場合、ジンバルの性能が低下する恐れがあります。
- スマートフォンクランプを調整し、スマートフォンとクランプの垂直ラインが一致するようにします。
- 厚さが 7.5 mm 未満または重さが 160 g 未満のスマートフォンを使用する場合、最適な性能を発揮するには同梱のライザーパッドを使用してください。

2. スマートフォンクランプマークと取り付けプレートのマークを合わせます。スマートフォンを DJI OM 4 SE に取り付けます。



3. DJI OM 4 SE を展開し、M ボタンを長押しして電源を入れます。



⚠️ DJI OM 4 SE の電源を入れる前にスマートフォンを取り付けてください。スマートフォンが検出されない場合、DJI OM 4 SE は振動し、スタンバイモードに入ります。スタンバイモードを解除するには、スマートフォンを取り付けた後、任意のボタンを押します。

DJI OM 4 SE の使用

電源を入れると、DJI OM 4 SE はデフォルトでフォローモードに入ります。ジンバルが、ジョイスティックの操作を滑らかなパンやチルトの動きに変換し、自然に発生する手ぶれを低減します。

スマートフォンも手動で調整できます。

ボタンとポートの機能



M ボタン

電源がオフの場合

1回押す：バッテリー残量を確認できます。

ビープ音が1回聞こえるまで長押しする：電源がオンになります。

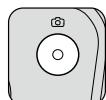
電源がオンの場合

1回押す：写真モードと動画モードを切り替えます。（デフォルトでの設定。DJI Mimo で変更可能）

2回押す：ランドスケープ（横向き）とポートレート（縦向き）モードを切り替えます。

ビープ音が1回聞こえるまで長押しする：スタンバイモードを開始または終了します。

ビープ音が2回聞こえるまで長押しする：電源がオフになります。



シャッター／録画ボタン

1回押す：写真の撮影または録画を開始／停止します。写真モードで長押しすると、バースト撮影します。



バッテリー残量インジケーター

DJI OM 4 SE のバッテリー残量を示します。



システムステータス インジケーター

現在の状態を示します。

点滅パターン	説明
黄色に点灯	Bluetooth の接続切断
緑色に点灯	Bluetooth 接続している状態
黄色または緑色に点滅	スタンバイモード
赤色と緑色に交互に点滅	ファームウェア更新中／ファームウェア更新に失敗
赤色に点灯	ジンバルの異常（温度が低温または高温、バッテリーの過放電など）



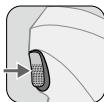
ジョイスティック

スマートフォンをチルトさせるには垂直に動かします。スマートフォンをパンさせるには水平に動かします。ジョイスティック操作方向は DJI Mimo で設定できます。



ズームスライダー

Tの位置にスライダーを動かすと被写体は拡大され、Wの位置に動かすと被写体は縮小されます。スライダーを一回プッシュすると、一段回ズームされます。スライダーをプッシュし続けると、連続的にズームされます。



トリガーボタン

長押しするとロックモードになります。ロックモードでは、ジンバルはハンドルの動きをフォローしません。離すとロックモードが終了します。

1回押すと、ActiveTrack 3.0 が開始または停止します。

2回押すと、ジンバルを再センタリングします。ActiveTrack 3.0 を使用している場合は、ジンバルはカメラビューの中央に再センタリングされます。

3回押すと、前面と背面のカメラが切り替わります。

1回押して、長押しするとスポーツモードに入ります。離すと終了します。スポーツモードでは、速い動きを捉えるためジンバルのフォロー速度が高まります。



充電ポート (USB-C)

DJI OM 4 SE を充電するには、このポートに USB アダプターを接続します。



USB-A ポート

USB-A ポートを使用して、スマートフォンを充電できます。



1/4"-20 UNC ポート

1/4"-20 UNC ポートを使用して三脚を取り付けることができます。



M3×0.5 ねじ穴

カウンターウェイトを取り付けるために使用します。カメラレンズまたはマイクがスマートフォンに取り付けられている場合は、カウンターウェイトを使用してください。これらのアクセサリーの総重量は、290 g 未満であることを確認してください。



ストラップ取付口

ストラップ取付口は、リストストラップを取り付けるのに使用します。

組み合わせ操作

DJI OM 4 SE が接続できない、または見つからない場合は、Bluetooth 接続をリセットしてください。M ボタン、シャッターボタン、トリガーボタンを同時に押すと、Bluetooth 接続がリセットされます。システムステータス インジケーターが緑色から黄色に変わったら、Bluetooth 接続は正常にリセットされています。DJI OM 4 SE を検索して再接続してください。

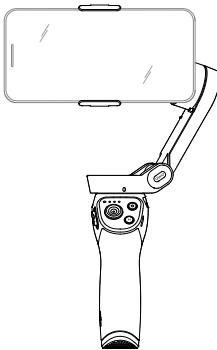
△ DJI OM 4 SE は、スタンバイモードで 10 分間無操作の場合、自動的に電源がオフになります。

操作モード

以下の図は、OM 4 をランドスケープ モードで使用する場合の操作モードを示しています。ポートレート モードで使用する場合も、同じ操作モードが適用されます。

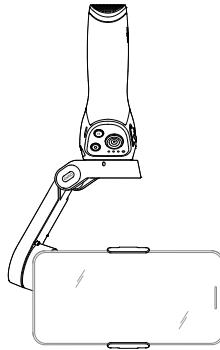
アップライトモード

アップライトモードは最初から使用できるモードです。このモードでスマートフォンをセンタリングするには、M ボタンを素早く 2 回押してください。



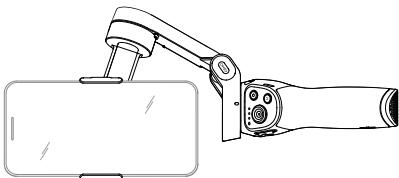
吊り下げモード

DJI OM 4 SE を逆さにすると、吊り下げモードになります。このモードでは、スマートフォンで低い位置からの映像を簡単に撮影できます。



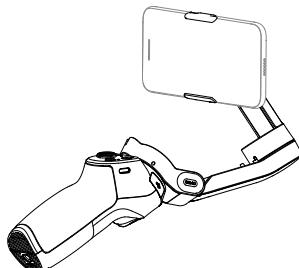
サイドグリップモード

DJI OM 4 SE を右または左に 90° 回転すると、アップライトモードからサイドグリップモードになります。



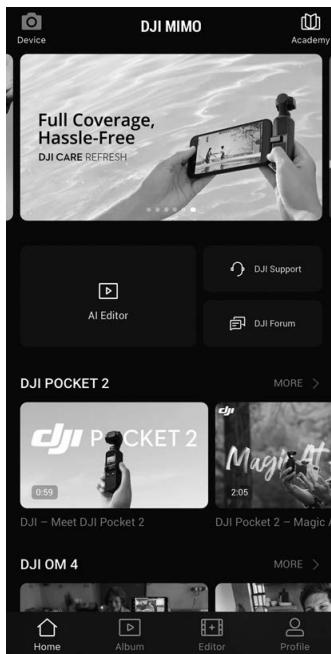
低ポジションモード

トリガーボタンを長押しし、DJI OM 4 SE を前方にチルトすると、低ポジションモードになります。チルト角が大きくなり、低い位置からの撮影に適しています。



DJI Mimo アプリ

DJI Mimo アプリを使用して、スマートフォンの画面でライブ HD 動画を確認できます。このアプリを使用すると、ハイパーラプス、タイムラプス、ActiveTrack 3.0、DynamicZoom、パノラマ、ストーリーモードなどを使用したり、カメラとジンバルの設定を数回タップするだけで変更したりできます。



回 カメラビュー：タップして DJI OM 4 SE に接続します。一旦接続すると、DJI Mimo はカメラビューに入ります。

回 アカデミー：タップすると、チュートリアルやマニュアルを閲覧できます。

回 AI Editor：写真・動画編集用の数種類のテンプレートがあります。

△ ホーム：タップすると、ホーム画面に戻ります。

□ 編集：タップして、DJI OM 4 SE から写真または動画を編集するか、モバイル端末からインポートして編集します。

呑 プロフィール：DJI アカウントに登録またはログインします。作品や設定を表示、いいね！やフォロワーの確認、他ユーザーへのメッセージ送信、および DJI ストアへの接続ができます。

DJI Mimo アプリへの接続

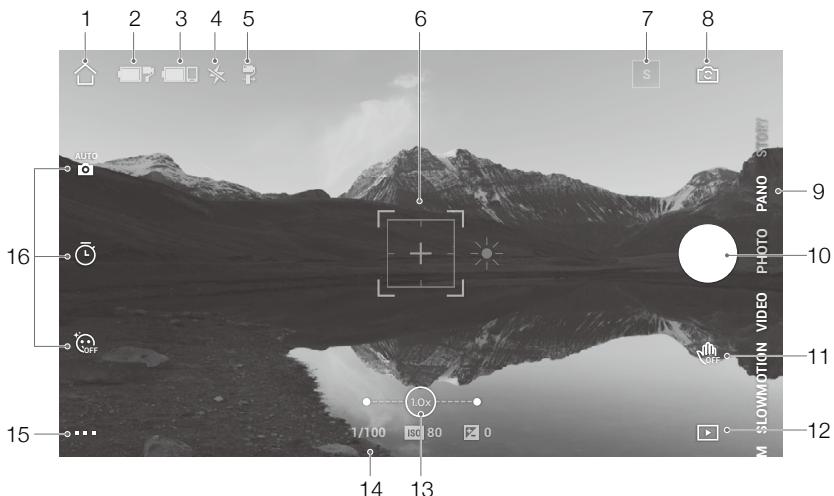
1. DJI OM 4 SE の電源をオンにします。
2. スマートフォンで Bluetooth を有効にし、DJI Mimo の OM 4 から始まる名前のデバイスに接続します。
3. DJI Mimo を初めて使用する場合は、DJI Mimo を使用して DJI OM 4 SE をアクティベーションする必要があります。手順に従ってアクティベーションを行ってください。DJI OM 4

SE をアクティベーションする際に、DJI アカウントの登録またはログインを行います。このプロセス全体でインターネットに接続していることを確認してください。

4. アクティベーションが完了したら、カメラビューに入ります。

△ Bluetooth で接続すると、DJI OM 4 SE は、DJI Mimo なしでスマートフォンのカメラを制御できます。詳細については、スマートフォン互換性一覧を参照してください。

カメラビュー



1. ホーム

△ : タップするとホーム画面に戻ります。

2. ジンバルのバッテリー残量

🔋 : ジンバルの現在のバッテリー残量を表示します。

3. スマートフォンのバッテリー残量

🔋 : スマートフォンの現在のバッテリー残量を表示します。

4. フラッシュ

★ : フラッシュの状態を表示します。

5. ジンバルモード

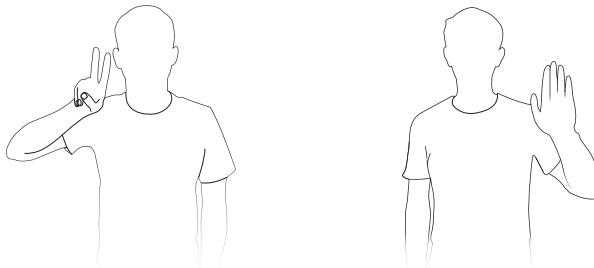
⌚ : 現在のジンバルモードを表示します：フォロー、チルト軸固定、FPV、スピンドル。

6. ActiveTrack の選択ボックス

[] : ActiveTrack 3.0 は、ディープラーニングアルゴリズムを使用し、頭と肩の形を検出して被写体を追跡するように最適化されています。デフォルトでは、被写体は常にカメラビ

ユーの中央に配置されます。カメラビューは手動で調整できます。ActiveTrack 3.0 を使用するには、以下の 3 つの方法があります。

- DJI Mimo のカメラビューで画面上をドラッグしてボックスを配置します。被写体の周囲に緑色のボックスが表示されている場合、ActiveTrack 3.0 が正常に動作していることを示します。トラッキングを停止するには、上部の隅にある X アイコンをタップしてください。
- DJI Mimo でジェスチャー操作を有効にし、カメラに向かって 1 ~ 2 秒間、手のひらを向けるか V サインのジェスチャーを行います。背面カメラの場合、最も近い頭と肩を検出し、被写体の追跡を開始します。前面カメラの場合、最も近い顔を検出し、被写体の追跡を開始します。



頭や肩のトラッキングとフェイストラッキングの違いは、頭や肩のトラッキングの場合は 360° のトラッキングに対応し、フェイストラッキングの場合は対応していない点です。また、カメラの検知範囲が異なります。ジェスチャーする被写体との間の検知範囲は、背面カメラの場合は 0.5 ~ 4 m で、前面カメラの場合は 0.5 ~ 2 m です。ActiveTrack 3.0 は、スマートフォンの消費電力が増加し温度を上昇させる可能性があるので、ご注意ください。

- トリガーボタンを 1 回押すと、ActiveTrack 3.0 が開始または停止します。ActiveTrack 3.0 を使用する場合は、ジョイスティックを動かしてカメラビューを調整してください。手のひらを向けるか V サインのジェスチャーを実行すると、録画が停止します。

7. ストーリーモード

- : ストーリーモードには、様々な方法で動画を記録するテンプレートがあります。撮影が終わると、選択したテンプレートに従って自動的に動画が生成されます。

8. 前面／背面カメラ切り替え

- : タップすると、スマートフォンの前面カメラと背面カメラを切り替えることができます。

9. 撮影モード

スクロールして撮影モードを選択します。

ハイパーラップス：スマートフォンを動かしながら、タイムラップス映像を撮影できます。シャッターボタンをタップすると、開始します。

タイムラップス：タイムラップスには、定位置とパスの 2 種類があります。タイムラップスを選択したら、画面上部の設定をタップしてください。定位置タイムラップスの場合、間隔と時間を設定し、撮影を開始します。パスを設定するタイムラップス（モーションラップス）の場合、

最大 4 つの位置を選択でき、ジンバルは順番にその位置へ移動して撮影します。

DynamicZoom：ムーブアウトモードとムーブインモードから選択します。モードを選択したら、ドラッグして枠で被写体を選択し、シャッターボタンをタップして撮影を開始します。

スローモーション：タップすると、8 倍スローモーションで動画を撮影します。

動画：タップすると、通常の動画撮影になります。

写真：タップすると、シングル撮影で写真を撮影します。長押しするとバースト撮影をします。

パノラマ：タップすると、3×3、240°、分身パノラマ写真を撮影します。

ストーリー：様々な動画を記録するテンプレートがあります。

10. シャッターボタン

●：タップして写真を撮影する、もしくは録画を開始／停止します。

11. ジェスチャー操作の切り替え

 OFF：タップすると、ジェスチャー操作の設定にアクセスします。

12. 再生

□：タップすると、写真や動画をプレビューします。

13. ズーム

 10X：画面に置いた 2 本の指を離すとズームインし、近づけるとズームアウトします。

14. 撮影パラメーター

1/100  80  0：シャッター速度、ISO、EV 値を表示します（iOS のみ）。

15. 設定 ■■■

：カメラ設定

背面カメラを使用している場合のみ、フラッシュ、ホワイトバランス、グリッドの設定が使用可能です。セルフィーミラーは、写真モードで前面カメラを使用している場合にのみ使用できます。

：ジンバル設定

ジンバルモード：

a. フォロー：パン軸やチルト軸がフォローします。

b. チルト軸固定：パン軸のみをフォローします。

c. FPV：パン、チルト、ロール軸をフォローします。

d. スピンショット：パン、チルト、ロール軸をフォローします。ジョイスティックを使用して、ロール軸の回転を制御できます。

スポーツモードへの切り替え：タップすると、スポーツモードを有効または無効にします。スポーツモードでは、ジンバルのフォロー速度が大幅に加速します。被写体が高速で動くシナリオでの撮影に適しています。

ズーム速度：ズームスライダーの使用時にタップしてズーム速度を設定します。

ジョイスティック速度：タップしてジョイスティックを制御する際の最大速度を設定します。高速、中速、低速から選べます。

ジョイスティックの制御方向：フリーと水平 / 垂直から選択します。フリーは、ジンバルを水平方向と垂直方向同時に制御できます。水平 / 垂直は、ジンバルを水平方向または垂直方向に制御できます。

パン制御を反転：この機能を有効にすると、パン軸の移動方向が以前の方向と逆になります。

チルト制御を反転：この機能を有効にすると、チルト軸の移動方向が前の方向と逆になります。

M ボタン一回押し：M ボタンを 1 回押したときの機能を定義します。写真モードと動画モードの切り替え、またはクイックメニューを開始／終了します。この機能は、好みに応じて設定ください。

ジンバル自動キャリブレーション：周囲からの磁気干渉や人的エラーによるドリフトを低減します。キャリブレーションを行う前に、三脚を使用して DJI OM 4 SE を平らな面に置いてください。キャリブレーション中はジンバルに触れないでください。

ジンバルの水平調整：ジンバルを調整する前に、磁気スマートフォンクランプが水平であることを確認してください。

■：一般設定

端末管理、機器名、ファームウェアバージョン、シリアル番号などの情報が含まれます。

16. 撮影パラメーターの設定

撮影モード	設定
ハイパーラプス	解像度と FPS、速度、ISO、シャッター、EV
タイムラプス	解像度と FPS、動画フレームレート、ISO、シャッター、EV
ダイナミックズーム	美顔効果、動画フレームレート、ISO、シャッター、EV
スローモーション	ISO、シャッター、EV
動画	美顔効果、動画フレームレート、ISO、シャッター、EV
写真	美顔効果、カウントダウン、ISO、シャッター、EV
パノラマ	3x3、240°、分身パノラマ、カウントダウン、ISO、シャッター、EV



- FPS、ISO、シャッター、および EV の設定は、iOS デバイスでのみ使用できます。
- 美顔効果を有効にすると、最大動画解像度は 1080p になります。
- 撮影パラメーターの設定はスマートフォンのモデルによって異なります。詳細については、スマートフォン互換性一覧 (www.dji.com/om-4-se/downloads) を参照してください。

ファームウェア更新

DJI Mimo を使用して、DJI OM 4 SE のファームウェアを更新します。更新には、およそ 3 分かかります。

更新方法

更新を開始する前に、バッテリー残量が少なくとも 15%あること（少なくともバッテリ残量インジケーターが 2 つ点灯した状態）を確認してください。DJI OM 4 SE をお手持ちのモバイル端末に接続し、DJI Mimo アプリを起動します。新しいファームウェア更新が利用できる場合、プロンプトが表示されます。更新を開始するには、モバイル端末をインターネットに接続し、画面の指示に従います。

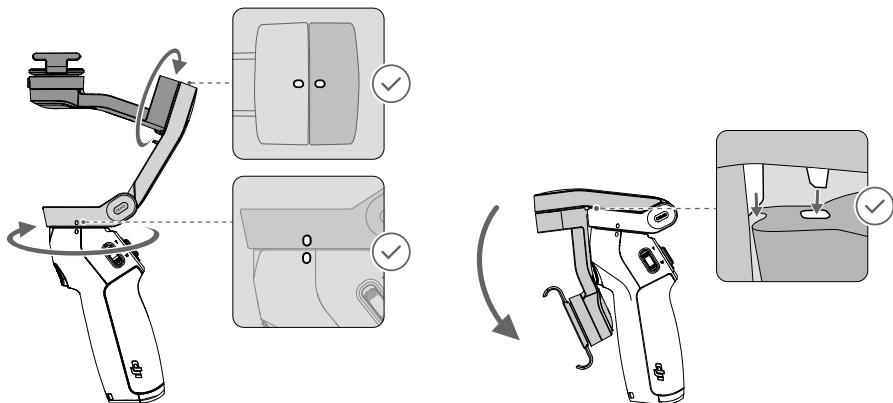
ファームウェアの更新中は、DJI Mimo を終了しないでください。画面に表示されるプロンプトに注意してください。システムステータス インジケーターが緑色と赤色で交互に点滅し、ファームウェア更新が正常に完了すると緑色に点灯します。

更新が失敗した場合は、DJI OM 4 SE と DJI Mimo を再起動し、Bluetooth に再接続してから再試行してください。

ストレージ

DJI OM 4 SE は、保管や持ち運びが簡単な折りたたみ設計です。電源がオフのときは、DJI OM 4 SE を折りたたんだ状態にしてください。

パン軸とチルト軸を回転させてジンバルのマークに合わせ、DJI OM 4 SE を折りたたみます。パン軸モーターのくぼみに、アームの凸部が一致するように折りたたんでください。電源をオフにした後、DJI OM 4 SE はストレージモードになります。折りたたむことができます。



仕様

名称	DJI OM 4 SE
モデル	OK100
サイズ	展開した状態：276×120×104 mm 折りたたんだ状態：163×100×47 mm
重量	390 g (ジンバル) 34 g (磁気スマートフォンクランプ)
消費電力	1.2 W (安定してバランスの取れている状態)
機械的可動範囲	パン：-161.2°～172° ロール：-136.7°～198° チルト：-106.5°～235.5°
最大操作速度	120°/s
対応スマートフォン	重量：230±60 g 対角線≤196 mm (または≤7.72 インチ) 厚さ：6.9～10 mm 幅：67～84 mm
無線モード	Bluetooth 5.0 (Bluetooth Low Energy)
伝送電力 (EIRP)	≤4 dbm
動作周波数	2.400～2.4835 GHz
バッテリータイプ	18650 Li-ion
容量	2450 mAh
電力量	17.64 Wh
電圧	7.2 V
充電温度範囲	5°C～40°C
動作環境温度	0°C～40°C
充電時間	2.5 時間 (10 W 充電器を使用し、環境温度 25°C で測定した場合)
駆動時間	15 時間 (理想的な条件下で、ジンバルのバランスが完全に取れた状態で使用した場合)

本内容は変更されることがあります。

最新版は下記よりダウンロードしてください。
www.dji.com/om-4-se/downloads

OSMO は DJI OSMO の商標です。

Copyright © 2021 DJI OSMO All Rights Reserved.